

平成23年12月8日

脇本様

こんばんは。  
先日はお疲れさまでした。  
そして、遠く大阪までお越しいただき、ありがとうございました。

大盛況だったそうですね。参加できなかったのが本当に残念です。

おかげ様でうちの息子は今日になってやっと熱が下がりました。  
あとは妻の出産を待つだけです。気にかけていただき、ありがとうございます。

私が歯科技工士になってやっと5年が過ぎようとしております。  
たった5年ですが、早くも私の同期の3分の2以上が離職してしまいました。  
そのほとんどが「もう技工はやらない」と口を揃えます。

私は最初に「まず5年は頑張ろう」と決めておりましたので、業界について  
〇〇〇さんに色々と言われながらも、なんとかやって参りました。

5年経って感じたことは、まず、歯科技工がやはり医療には欠かせない尊い仕事であったということです。  
歯科技工士を志した時分の初心が裏切られることはありませんでした。  
〇〇〇さんの技工に対する姿勢を間近に見ながら仕事をする事が出来たおかげだと思います。

もうひとつは、歯科技工士にはとにかく愚痴をこぼす方が多いな、と感じました。  
私の周りだけでの現象かもしれませんが、文句を言う方が多いような気がいたします。  
特に酒の席になると愚痴大会が恒例行事になっているようです。  
当然、私も積極的に参加しております。

愚痴をこぼし合うのはストレス発散にはつながるでしょうが、その「文句」を「意見」に変えて  
いかなければ何事も前に進まない、と私は思っております。  
「文句」は言うけど「意見」は言わない方が多いような気がいたします。

脇本さんは国に対して、業界に対して「意見」をして下さいました。  
私は最大限の尊敬の念をもって脇本さんの活動を見守っております。

僭越ながら私も脇本さんの真似をして、二度程、自分の所属するスタディーグループで海外委託問題に関  
してプレゼンテーションをした事があります。  
人前で発言する題材としては、本当に難しい問題ですね。

そんな中で「歯科医療の未来を語る懇談会」のホームページは大変勉強になる情報源です。  
私は出来るだけたくさんの方の技工士、特に若い世代に紹介したいと思っております。

少々長くなってしまいましたが、脇本さんにお会いした際にお伝えしたかった事です。

そろそろ本格的に冷えてまいりました。  
年もせまり、何かと忙しい折ですが、どうぞ風邪などひかれませんよう、ご自愛ください。

(●●●●)